水田作 畑作

農薬散布用ドローンの導入による適期防除と作業時間の短縮

経営体の概要

- •所在地:福井県丹生郡越前町乙坂
- ・経営体名(農)みずほ
- •栽培作物·作付面積:水稲·20ha 大麦9ha 大豆5ha
- •従業員数:4名(令和元年7月現在)

導入技術

農薬散布用ドローン 2機 (JABO N6005(株)メディックス製))



農薬散布用ドローン



飛行中の様子

導入経緯

- (農)みずほではJAに委託していた水稲の航空防除 の費用負担が大きいことが課題であった。
- そこで農薬散布を自前で行うため平成28年に農薬 散布用ドローンを導入した。

取組の特徴・効果

- ドローン導入には講習も含めて180万円の費用がかかったが、4年程度で導入費用を回収できる見込みである。
- また水稲以外にも麦、大豆の防除でも活用している。
- 自前で防除出来るため、適期防除が可能となった。 その結果、毎年の病害虫発生が少なくなり、<u>収量の</u> 向上と農薬費の削減を実現。

(導入前収量450kg/10a → 導入後480kg/10a) (散布農薬費約2割減<粉剤→液剤>)

防除作業時間の短縮を実現。
導入前0.5h/10a → 導入後0.2h/10a